

工学専攻【博士後期課程】

時期	項目	内容・目的等	
入学前 (入学試験時)	指導教員決定	<ul style="list-style-type: none"> ●提出された修士論文(又はこれに代わる業績、作品集)、学会への投稿論文の別刷り等、及び研究計画書の確認 ●口頭試問時に、研究計画を確認 ●合否判定予備会議において、研究計画と指導教員専門とのマッチングを確認 ●研究科委員会にて入学合否と指導教員を決定 	
1 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> ●大学院での研究・履修・生活についての説明 ●指導教員の発表 ●履修指導(履修登録には指導教員の承認が必要) ●院生スペースの割り付け ●大学院研究成果発表助成制度の説明 	
		「研究中間発表会」参加	<ul style="list-style-type: none"> ●修士2年次及び博士後期2年次以上学生による研究中間発表会に参加 ●修士学生へ研究にかかるアドバイス
		博士研究テーマ決定	●入学試験時に提出された研究計画を基本に、博士研究テーマを決定、指導教員に報告
		(1～3年次) 指導教員の研究指導科目を履修	<ul style="list-style-type: none"> ●博士後期課程3年間にわたり、指導教員の研究指導科目を履修し、研究室に所属 ・研究計画の作成と提出、プレゼンテーション ・教員指導の下、研究活動進行 ・博士論文の執筆方法、プレゼンテーション方法等の確認 ・学会(国際学会を含む)、展示会等での対外的成果発表の奨励 ・所属研究室学部生・修士学生の研究指導補助 ・所属研究室における科研費・委託・共同研究プロジェクト等に参画(OJT) *指導教員による研究指導は、学生の状況により、研究指導科目以外の時間でも随時行われる。
2 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> ●1年次と同様、変更点を中心に説明 	
		「研究中間発表会」参加	<ul style="list-style-type: none"> ●発表タイトルの登録 ●発表及び質疑応答 ・参加者：研究科教員・博士後期課程学生・修士課程学生(学部学生も聴講可) ・評価者：研究科教員(指導教員含む) ・発表：口頭またはポスター発表(発表者数によって変更、事前にアナウンス) ・質疑応答：教員及び参加者とディスカッション
		研究計画の見直し	●研究の進捗状況により、研究計画を見直し、指導教員に報告
3 年 次	4月上旬	研究科主催ガイダンス <ul style="list-style-type: none"> ●2年次と同様、変更点を中心に説明 	
		「研究中間発表会」参加	●2年次に中間発表ができなかった学生は発表を行う
		研究計画の見直し	●研究の進捗状況により、研究計画を見直し、指導教員に報告
	11月上旬	博士論文提出	●博士論文他学位申請書類一式を大学院事務課に提出
		論文受理の承認	<ul style="list-style-type: none"> ●研究科委員会にて、提出された博士論文の受理の可否を審議 ●学位申請要件は「工学研究科博士学位審査に関する内規」を参照のこと
		学位審査委員会の発足	●受理された論文に対する学位審査委員会を発足する
	12月中旬～	予備審査会	<ul style="list-style-type: none"> ●学位審査委員会において論文審査を実施 ・論文内容に関するプレゼンテーション(60分程度)、質疑応答(30～60分程度)を実施 ※予備審査会は状況に応じて複数回実施することもある
	1月中旬～ 1月下旬	論文公示	<ul style="list-style-type: none"> ●学位審査委員会において公示要領と最終試験日時等を告知(公示の1週間前まで) ●論文の公示(1週間以上)
		最終試験(公聴会形式)	<ul style="list-style-type: none"> ●最終試験(公聴会形式)の開催 ・論文内容に関するプレゼンテーション(60分程度)、質疑応答(30分)を実施 ・最終試験・学力確認をあわせて実施
2月	合否決定	<ul style="list-style-type: none"> ●学位審査委員会による審査結果報告(審査結果報告書の提示) ●博士後期課程研究指導教員及び研究指導補助教員による審議(3分の2以上の出席による無記名投票で投票数の3分の2以上の賛成が必要) ●学位審査委員会において審査結果報告書類一式を作成し、研究科長に提出 	

※上記は予定であり、内容及び時期を変更する場合がある